

## 令和3年(2021)2月 『冬の松子』

毎年2月の初め頃にアカガエルたちの大合唱の時期を迎えます。冬眠から一時目覚めたカエルたちが交尾して産卵する合図です。暖くなるまでしばらくの間、松子の田んぼではこの卵塊がたくさん見られます。一つが数百個の卵の塊ですが、昨年はこの卵塊が500以上確認できました。

草刈りした後のアシ田には、写真のような面白い形の枯れ草が見られます。タコノアシという植物の実の部分が枯れたものです。近年は少なくなってきているようです。

2月の間はまだまだ寒く、田んぼにも氷が張り、地面には霜が降りています。日の当たらないところでは、昼近くでも落ち葉の上などに、面白い形の霜や氷の小さな結晶を観察することができます。

まだ春の便りには遠いですが、足元の自然の造形や生き物たちを観察してみませんか。

### <問合せ先>

吉田 42-6784 小池 070-4027-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



△タコノアシ



△落ち葉の間の霜